



十西小だより

弥富市立十四山西部小学校
学校だより 第20号



令和元年9月5日

避難訓練(休み時間)



緊急地震速報を聞き、運動場でシェイクアウトのポーズをとりました。



避難経路の安全が確認されました。



まだゆれる心配があるので、校舎内にいた人たちが、避難を始めました。

校舎内にいた高学年の皆さんが、救命胴衣を運び出しました。



9月3日火曜日に避難訓練を行いました。今回は、休み時間中に震度5弱の地震が発生したという想定の下、予告なしで行いました。緊急地震速報が流れると、外にいた子どもたちは一斉に運動場の真ん中に集まり、シェイクアウトのポーズをとりました。校舎内にいた子どもたちも、それぞれ安全だと思われる場所でシェイクアウトのポーズをとったり、頭を守る工夫をしたりしながらゆれが収まるのを待ちました。避難経路の安全が確認されると、校舎内にいた子どもたちも運動場に避難をしました。



先生の話聞きながら、訓練の振り返りをしました。

予告なしで、場所によっては自分で判断をして行動しなければならない訓練でしたが、子どもたちは、落ち着いて静かに行動できたと思います。いざというときに「自分の命は自分で守る」ことができるよう、訓練を積み重ねていきたいと思っています。

怖いと思うこと

2学期の始業式で「怖いと思うこと」について話をしました。「怖いと思うこと」は格好悪いことのように思われますが、自分の命を守ることに繋がります。蛇が怖いと思えば、蛇には近づきませんし、蜂が怖いと思えば、近寄らないようにしたり、怒らせないように用心したりします。山や海にいるとき、道路を歩いているとき、また、地震や台風などが発生したときも、怖いことは何かを正しく理解していれば、取るべき行動が見えてくるはずです。「怖いと思うこと」で、自分を危険から遠ざけることができるのです。「怖いと思うこと」から、身の回りの危険への対応について考えさせ、安全な生活を送ることができるようにさせていきたいと思っています。

